

第1号様式（特支高）

にゅうがく し がんしょ

入学志願書

じゅけんばんごう

受検番号

※

志望校	第一志望	おきなわけんりつ 沖縄県立	コース・分教室	第二志望	おきなわけんりつ 沖縄県立	コース・分教室
	※第一志望	おきなわけんりつ 沖縄県立	コース・分教室	※第二志望	おきなわけんりつ 沖縄県立	コース・分教室

必ず、両方に記入する

志願者	ふりがな氏名						
	せいねんがっぴ 生年月日	へいせい 平成	ねん 年	がつ 月	にち 日	うまれ 生	さい 歳
	げんじゅう 現住所						
	しゅっしんがく 出身学校	そつぎょうみこ 卒業見込み					

保護者	ふりがな氏名					
	げんじゅうしょ 現住所	〒				
	でんわ 電話番号	(じたく) (自宅)				
		(けいたい) (携帯)				

検査場	ほんこう校		いたく しゅつちよう 委託・出張	
	※		けんさじよう 検査場	※

わたし きこうこうとうぶだいいちがくねん にゅうがく

私は貴校高等部第一学年に入学したいので、保護者と連名の上、出願いたします。

れいわ ねん がつ にち

令和 年 月 日

おきなわけんりつ がっこうちよう どの しがんしゃ

沖縄県立 学校長 殿 志願者

※沖縄県立 学校長 殿 保護者

記入上の注意

- 1 受検番号の欄は、記入しない。
- 2 志願者が成年者の時は、保護者欄を保証人と読み替えて記入する。
- 3 年齢は3月31日現在で記入する。
- 4 保護者の現住所が志願者のものと同じ場合には、「志願者と同じ」と略記する。
- 5 受検場については、本校で学力検査等を受ける者は本校に○印を、その他で受検する者は該当欄に検査場名を記入すること。
- 6 ※印欄は、志願変更する場合のみ記入する。

ふりがな			男・女	受検番号	※	志望学科	第一 ※	第二 ※						
氏名														
生年月日	平成	年	月	日生										
現住所				②特別活動の記録 ③行 動 の 記 録										
	内容	学級	生徒会	学校	項目	基本的な	健康・体	自主・責任	創意	思いやり	生命尊重	勤労	公正	公共心・公

調査書の作成方法

(1) 第2号様式

ア 「受検番号」の欄は中学校等においては記入しない。

イ ※印の欄は志願変更する場合のみ記入する。

ウ 記入事項のない欄には斜線を引く。

エ 「① 各教科の学習の記録」の欄は次のように記入する。

(ア) 「観点別学習状況」の欄は1年～3年の各学年について十分満足できると判断されるものを○で記入し、○に該当しないところは空欄にする。

なお、2・3年「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」については、※1～3に対応する欄へ記載すること。

※1:知識・技能 ※2:思考・判断・表現 ※3:主体的に学習に取り組む態度

(イ) 「評定」の欄は、絶対評価による5段階の目標に準拠した評価で記入する。

(ロ) 「総合的な学習の時間の記録」の欄は指導要録に基づいて記入する。

オ 「② 特別活動の記録」の欄は指導要録に基づいて記入する。

カ 「③ 行動の記録」の欄は指導要録に基づいて記入する。

キ 「④ 総合所見」の欄は指導要録に基づいて記入する。なお、特技、資格(例 英語検定、珠算、書道、柔剣道等の級、段位を具体的に記入する。)についても、この欄に記入する。

ク 「⑤ 出欠の記録」の欄は次のように記入する。

(ア) 1年及び2年は指導要録に記入されたものを転記する。

(イ) 3年は令和6年1月26日現在で記入する。

(ロ) 出席日数の欄は、不登校の生徒が学校外の施設において相談・指導を受け、そのことが当該生徒の学校復帰のために適切であると校長が認めた場合には、その日数を出席扱いとして出席日数に加えるとともに、()内に内数として記入する。

(ハ) 備考欄は、欠席の正当な理由のあるものについて、その数値を記入し、その数が10日以上の場合、理由もあわせて特記する。(ただし、病欠については回数のみ)また、前記ウで相談・指導を受けた適応指導教室等の施設名を記入する。

ケ 「⑥ 健康所見」の欄は健康診断票の該当欄の最も新しい記載事項を転記する。高等学校の就学に支障があると思われる疾病又は異常のある者については、令和5年4月以降に診断した結果を記入し、健康診断書を添付する。

過年度卒業者については記入を要しない。ただし、令和6年1月以降に行った健康診断書(第8号様式)を添付する。(病院、診療所又は保健所が発行したもの。)

コ 令和4年度以前に卒業した者の調査書については、指定された様式で作成すること。

3 年				記載責任者 教諭
--------	--	--	--	----------

調査書

ふりがな		受検番号		第一	第二
氏 名			志望学科	第一	第二
生年月日	平成 年 月 日生		※	※	

第2号－2様式

- ア 「受検番号」の欄は中学校等においては記入しない。
- イ ※印の欄は志願変更する場合のみ記入する。
- ウ 記入事項のない欄には斜線を引く。
- エ 「各教科の学習の記録」の欄は次のように記入する。
- (7) 「学習状況」の欄はA B C Dの評価を記入する。
- (イ) Aの評価は、完全に自身でできる場合。
- (ウ) Bの評価は、部分的な支援があればできる場合。
- (エ) Cの評価は、学習の理解が困難である場合。
- (オ) Dの評価は、学習に臨む準備ができていない場合、或いは興味関心が向かない場合。
- オ 「発達の記録」の欄は、最新の情報で記載すること。
- カ 「出欠の記録」の欄は指導要録に基づいて次のように記入する。
- (7) 1年及び2年は指導要録に記入されたものを転記する。
- (イ) 3年は令和6年1月26日現在で記入する。
- (ウ) 出席日数の欄は、不登校の生徒が学校外の施設において相談・指導を受け、そのことが当該生徒の学校復帰のために適切であると校長が認めた場合には、その日数を出席扱いとして出席日数に加えるとともに、()内に内数として記入する。
- キ 「健康と体力」の欄は健康診断票の該当欄の最も新しい記載事項を転記する。過年度卒業生については記入を要しない。ただし、令和5年1月以降に行った健康診断書（第8号様式）を添付する。（病院、診療所又は保健所が発行したもの）。

理 科	① 動物や植物の名前がわかる	A B C D	・ 家 庭	⑤ 道具や工具、材料等の片づけ・整理整頓ができる	A B C D	
	② 動物や植物の体のつくりと働きの基本的なことがわかる	A B C D		⑥ 簡単なものにアイロンをかけることができる	A B C D	
	③ 顕微鏡の使い方がわかる	A B C D		⑦ はさみで布を切ることができる	A B C D	
	④ 薬品や器具の基本的な扱い方がわかる	A B C D		⑧ 基礎縫い（玉結び、なみ縫い等）ができる	A B C D	
	⑤ 環境（地球温暖化など）についての基本的なことがわかる	A B C D		⑨ 調理用具（包丁等）を安全に扱うことができる	A B C D	
音 楽	① みんなと一緒に音楽活動を楽しむことができる	A B C D	外 国 語 ・ 英 語	⑩ ガス器具の扱いができる	A B C D	
	② 声を出して歌うことができる	A B C D		① 大文字、小文字のアルファベットが読める	A B C D	
	③ 手拍子や打楽器を使ってリズム打ちをすることができる	A B C D		② 大文字、小文字のアルファベットが書ける	A B C D	
	④ 楽譜（リコーダー・キーボード等）を見ながら簡単な曲の演奏ができる	A B C D		③ 英語で基本的なあいさつができる	A B C D	
	⑤ 様々な音楽に興味・関心を持って鑑賞することができる	A B C D		④ 名前、好きなもの（事）が英語で言える	A B C D	
⑤ 1～10までの数字、曜日、天気が英語で言える						A B C D
※授業のない教科については、斜線（/）を引いてください。						

本書の記載事項に誤りが無いことを証明する。			
令和 年 月 日	学校名	学校長名	印
記載責任者 教諭			

第 11 号様式（特支高）

専 門 医 の 診 断 書	
現 住 所	
氏 名	年 月 日生
病 名 ※障害名	
障 害 種 ※主障害を○で囲んでください。 聴覚障害 知的障害 肢体不自由 病弱 （ 視覚障害については別様式）	
所 見 (※障害の程度・検査名・検査結果等を必ずご記入下さい)	
* 手帳未取得の場合の場合 * 知的障害が証明可能なもの	
上記のとおり診断する。	
年 月 日	
住 所	
病 院 名	電 話
医師氏名	印

※ 障害種別の専門医の診断によること。

※ 視覚障害については、沖縄盲学校専攻科と同書類、3号様式（特支専）を使用すること。

健康診断書

ふりがな 氏 名			出身地		
生年月日	日	年	月	卒業年月	年 月 卒業
視 力	右	()			
	左	()			
聴 力	右	異常なし ・ 難聴			
	左	異常なし ・ 難聴			
胸部レントゲン	直接撮影 ・ 間接撮影 (フィルム番号)				
	所 見 (異常なし ・ 要管理)				
疾病及び健康に配慮を 要する事項					
上記のとおり相違ないことを証明する。					
年 月 日					
所在地					
名 称					
医 師					
印					

過卒生のみ

離島在住者のみ

確 約 及 び 証 明 書

沖縄県立

学校長 殿

下記の生徒について、確約及び証明します。

記

ふりがな 志願者		出身学校	学校
志願校	沖縄県立 学校		
志望学科	第一	科	コース・分教室
	第二	科	コース・分教室

上記の者の保証人として、すべての責任を果たすことを確約します。

ふ り が な
保 証 人 _____

現 住 所 _____

電 話 番 号 _____

生 年 月 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日生（ _____ 歳）

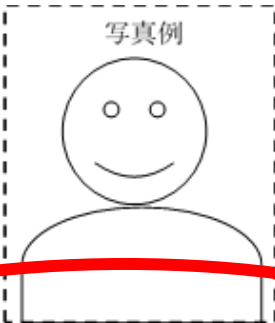
保護者または本人との関係 _____

上記の者は、保証人として、そのすべての責任を果たしてもらうことを証明します。

ふ り が な
保 護 者 名 _____

現 住 所 _____

第 15 号様式（特支高）

令和 年度 沖縄県立特別支援学校高等部入学者選抜 写真票 一般入学・2次募集用	
(写真貼り付け欄) ・旅券申請用判（縦4.5cm×横3.5cm 程度） ※カラー、白黒 どちらも可。 ・正面、上半身、無帽(出願前6ヶ月以内に撮影したもの) 志願者写真 写真例  ※この用紙に直接写真を貼り付けて提出してください。 (切り取らず、A4用紙のまま提出) ※写真の裏に氏名、生年月日を記入してください。 ※受検番号は記入しないでください。学校側が記入します。 ※本票は県立特別支援学校高等部入学者選抜に係ること以外には使用しません。	
※一般入学受検番号 (初回)	
※一般入学受検番号 (志願変更)	
※2次募集受検番号 (初回)	
※2次募集受検番号 (志願変更)	
ふりがな 氏 名	
在籍（出身）中学校名 中学校	

第3号様式（特支高）

令和 年度
入 学 志 願 者 名 簿

沖縄県立_____学校

科 _____ コース・分教室

_____ 学校 校 長 _____ 印

通し番 号	受検番号	ふりがな 氏 名	第二志望 (第2志望コース)	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

1 志願学科別、コース・分教室別にそれぞれ1部作成する。

- 2 受検番号欄は、記入しない。
- 3 過年度卒業者については、備考欄に「過」と記入する。
- 4 学区外の志願者については、備考欄に「外」と記入する。
- 5 第二志望（第2志望コース）欄は、希望者のみ記入する。

（ 枚中の1 ）

沖縄県立 学校長 殿

本人氏名

保護者氏名

印

本人記入欄

自己申告書を出す理由

- 1 欠席日数が多い
2 その他()

理由の説明、志願の動機、学校生活への抱負など

*** 欠席又は出席扱いが多い等の理由を説明する
必要があると認められるもの**

*** 出願時に提出する**

***記入は、志願者及び保護者の直筆とする。**

保護者記入欄

(支援学校に理解してほしいことがらなど)

この自己申告書は、必要事項を記入後、中学校へ提出すること。提出にあたっては、厳封してもよい。その際、封筒の表に、中学校名、本人氏名を記入すること。

第 16 号様式（特支高）

学力検査等に際しての配慮願い書

令和 年 月 日

沖縄県立_____ 学校長 殿

*** 本人が記入**

*** 10 月末日までに教育庁県立学校教育課に提出**

保護者氏名

標記の件につきまして学力検査等の受検に当たって、配慮願い書を提出いたします。

記

1 配慮が必要な理由及びその状態について

2 学力検査等に当たって配慮してほしい措置

3 現在、学校生活において配慮している措置（中学校等の定期考査等で行っている配慮）